

令和7年度 愛知県栄養士会 第3回医療部会研修会 報告

開催日時：令和8年2月21日(土) 13:00~16:20(オンライン受付 12:50)

場所：対面 および オンライン

対面会場：愛知県栄養士会事務局



参加者：会員 93名（うちオンライン 75名）

他県会員 20名（すべてオンライン）

テーマ：AI活用、その利便性とリスクを知る

第1部 シンポジウム AIの活用実例

「教材・資料作成の実際～忙しい現場での業務短縮の工夫～」

講師：社会医療法人名古屋記念財団 新生会第一病院 臨床栄養科 科長

平賀 恵子先生

「病院におけるAI活用事例」

講師：日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院 栄養課

杉山 優一先生

「実践栄養学研究におけるAIの可能性と課題」

講師：東北大学大学院 医工学研究科 スポーツ健康科学分野 特任研究員

川瀬 文哉先生

第2部 基調講演

「AIって何から始める「管理栄養士・栄養士の為のAI入門」

講師：学校法人 中西学園 名古屋栄養専門学校 副校長

平田 芳浩先生

【研修会内容】

令和7年度3回目研修会では、第一部で平賀先生、杉山先生、川瀬先生より、AI活用実例を提示して頂き、第2部では平田先生よりAIの歴史や種類、使い方等AIを活用した事が無い人でも理解出来るようわかりやすくご講演頂きました。今回の研修会を通して、AIの活用は、限られた時間の中で考える時間を確保する為の手段となる事を学ぶ良い機会となりました。しかしながら、生成AIはハルシネーション(幻覚)を起こすという弱点もある為、最終判断は専門職が判断し、個人情報、機密情報の入力はしない、知的財産権の侵害に注意し、モラルを守ったAI活用により業務の効率化を図る事が出来る事を学びました。会場、オンラインでは、活発な質疑応答があり、大変有意義な研修会となりました。3連休の初日の研修会ではありましたが、多くの方にご参加いただきありがとうございました。

(報告者：高間絵奈)

